

時間割番号	科目名[英文名]	単位数
	木造建築概論 [Introduction to Timber Structure]	1
担当教員(責任)[ローマ字表記]		
山田 容三 [YAMADA Yozo]		
担当教員		
腰原 幹雄 [KOSIHARA Mikioi], 安井 昇 [YASUI Noboru], 網野 禎昭 [AMINO Sadaki]		

授業題目

木造建築概論 (Introduction of Timber Structure)

授業のキーワード

木造建築 (Timber Structure)

授業の目的

木材利用は森林の維持と密接な関係にある。木造建築は木材利用の最重要な位置にあることを踏まえ、公共建築物における木材の利用の促進に関する法律が施行された。木材は要求される建築構造物として技術開発がなされている中、応用する技術者が不足している。そこで、この授業では木材と建築の高度な知識を持つ人材を育成する。

授業の到達目標

1. 木造建築構造の基礎知識習得
2. 木造建築技術の応用とその未来を学ぶ
3. 木造建築の防耐火の知識習得

授業概要

講師の資料をもとに座学する。

授業スケジュール

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1. 木造建築の構法と歴史 | 東京大学・腰原 幹雄 教授 |
| 2. 木造建築の構法と構造材料 | 〃 |
| 3. 木造建築の構造 | 〃 |
| 4. 木造防耐火設計の基礎 | 桜設計集団・安井 昇 講師 |
| 5. 木造防耐火設計の応用 | 〃 |
| 6. 木造防耐火の技術開発と今後の可能性 | 〃 |
| 7. 木と建築と社会 | 法政大学・網野 禎昭 教授 |
| 8. 木造による循環型社会 | 〃 |
| 9. ハイコンセプト・ローテック | 〃 |

授業時間外学習にかかわる情報

建築現場の見学、製材所の見学、乾燥の現場見学、原木市場の情報など建材に関する見聞を広めておく。

成績評価方法

講義終了後のレポートで評価する。

受講条件(任意入力)

受講のルール

教科書 (購入する必要のある図書)

教科書1	書名			ISBN	
	著者名	出版社		出版年	

教科書2	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

参考書（購入する必要はないが、推奨する図書）

参考書1	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	
参考書2	書名				ISBN	
	著者名		出版社		出版年	

教科書・参考書に関する補足情報

講義用資料は配付する。

参考書に関する図書館への連絡事項(任意入力) この項目は学生から参照することはできません

オフィスアワー

授業終了後

連絡先

参照ホームページ

その他

建築士などの資格がなくても理解できる講義であるから連続して受講すること。